機能/仕様一覧表

帳票デザインファイル（Excelシート）に設定されたExcelの各種設定が、プレビューや印刷、PDF形式での出力時にきちんと反映されるかを表しています。
【○=対応、×=未対応】

Excelメニュー/設定項目	VB-Report（※1）	帳票出力時にExcelを使用（※2）	
	プレビュー/印刷/PDF（※3）	プレビュー	印刷
[ファイル]-[ページ設定]-ページ			
印刷の向き（縦/横）、拡大縮小印刷（拡大/縮小10～400%）、用紙サイズ	○	○	○
拡大縮小印刷（横1～32767×縦1～32767）	×	×	○
[[ファイル]-[ページ設定]-余白			
上、下、左、右、ヘッダ、フッタ、ページ中央（水平、垂直）	○	○	○
[[ファイル]-[ページ設定]-ヘッダ/フッタ　[左側/中央部/右側]			
左詰、中央揃え、右詰、二重下線、上付き文字、下付き文字、太字、斜体、下線付き、取り消し線、日付、時刻、シート見出し名、ページ番号、ページ番号に<数値>を加えた値、ページ番号に<数値>を引いた値、&を1つ、フォント名、フォントサイズ、総ページ数	○	○	○
[[ファイル]-[ページ設定]-シート			
枠線	×	×	○
ページの方向（左から右へ/上から下へ）	○	○	○
[挿入]-[改ページ]	○	○	○
[挿入]-[グラフ]　標準/組み込み/ユーザー定義	×	×	○
[挿入]-[図]-[クリップアート]	×	×	○
[挿入]-[図]-[ファイルから]	○	○	○
[挿入]-[図]-[オートシェイプ] ※図1 対応するオートシェープを参照	○（※4）	○	○
[挿入]-[図]-[組織図]	×	×	○
[挿入]-[図]-[ワードアート]	×	×	○
[挿入]-[マップ]	×	×	○
[挿入]-[オブジェクト]　新規作成、ファイルから	○（※5）	○	○
[書式]-[セル]-［表示形式］分類、種類	○	○	○
[書式]-[セル]-配置			
横位置-標準・左詰め（インデント1～15）・左詰め（インデント1～15）・中央揃え・右詰め・両端揃え・選択範囲内で中央・均等割付、縦位置:上詰め・中央揃え・下詰め両端揃え・均等割り付け、折り返して全体を表示する、縮小して全体を表示する、セルを結合する、方向-縦書き・-90～90度	○	○	○
[書式]-[セル]-配置			
横位置-繰り返し	×	×	○
[書式]-[セル]-フォント			
フォント名、スタイル（標準/斜体/太字/太字斜体、サイズ（1～409）、下線（なし/下線/二重下線）、色、取り消し線、上付き、下付き	○	○	○
[書式]-[セル]-罫線			
上・下・左・右・左上がり・右上がり、スタイル（14種）、色	○	○	○
[書式]-[セル]-パターン			
色、パターン	○	○	○
[書式]-[セル]-保護			
表示しない	×	×	○
[書式]-[スタイル]			
スタイル名、表示形式、配置、フォント名、罫線、パターン	○	○	○
[書式]-[行]・[列]			
高さ（※6）、幅（※6）、標準の列幅（※6）、表示しない	○	○	○
[書式]-[オートフォーマット]	×	○	○
その他（※4）			
フルカラー設定	○	○	○
テーマ（※7）	○	○	○
図の設定	○	○	○
オートシェイプの設定（※8） ※図1 対応するオートシェープを参照	○	○	○

（※1）VB-Reportは、Excelを使用せずVB-Report独自の技術によりプレビュー、印刷することができます。
○=Excelを使用しない場合でも、帳票結果に反映されるもの

（※2）VB-Reportは、実行環境にインストールされたExcelを使用してプレビュー、印刷することができます。
○=Excelを使用することで帳票結果に反映されるもの

（※3）PDFファイルの制限により、若干の違いが生じる場合があります。

（※4）xlsx形式のみ。

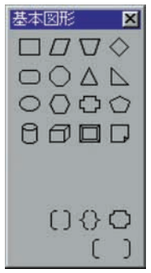
（※5）ビットマップイメージ、JPEGに対応します。xls形式のみ。

（※6）VB-ReportとExcelでは、行の高さや幅の算出方法に違いがあるため、双方で出力した結果を比較した場合、幅や高さに若干違いが生じる場合があります。

（※7）テーマそのものを作成したり切り替えることはできません。

（※8）3D、影、グラデーション、テクスチャには対応していません。

図1
対応するオートシェープ



上記の他、直線、矢印、四角形、楕円、テキストボックス、縦書きテキストボックスも、帳票デザインで使用することができます。

ライセンス

VB-Reportのランタイムファイルは、クライアント環境への再配布時のみロイヤリティフリーです。サーバー環境へ再配布する場合は、別途「サーバーライセンス」が必要となりますので、詳しくは弊社までお問合せ下さい。

必要システム

■標準価格 77,700円
1クライアント開発ライセンス
VB-Report 2007

OS	Windows 2000（SP4以上）/XP（SP2以上）/Server 2003（SP1以上）/Vista ※.NET Framework 1.1（SP1以上）もしくは2.0、3.0が必要です。※ASP.NETで使用する場合、IIS5.0以上が必要です。
ハードディスク	20MB以上の空き領域が必要です。
メモリ	256MB以上
開発環境	Visual Studio .NET 2003、Visual Studio 2005
対応言語	Visual Basic.NET、Visual C#（Windowsアプリケーション/ASP.NETアプリケーション）
対応するExcelバージョン	Excel97/2000/2002/2003/2007

販売に関するお問合せは下記をご利用下さい。
ホームページ ▶ http://www.adv.co.jp/
アドバンスソフトウェア株式会社
〒918-8237　福井県福井市和田東1丁目222番地
TEL:0776-21-9008(代)　FAX:0776-21-9022　E-Mail:info@adv.co.jp

※表記中の会社名、製品名は一般に各社の商標または、登録商標です。
※仕様は品質改良のため、予告なく変更することがあります。

取扱店

ADVANCE

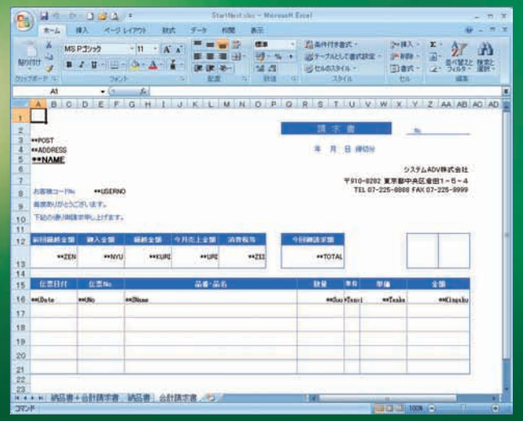
Excelでデザインする帳票作成ツール

VB-Report 2007

Microsoft Excel 2007 対応

複雑な帳票デザインに新たな提案! 帳票デザイナはExcel!
Excel 2007の豊富な修飾機能で帳票がデザインできます。

「Excelで帳票をデザインする」VB-Reportが、新しくExcel 2007に対応しました。新たな機能も搭載しアプリケーション開発に大きく貢献します。



Excelの豊富な修飾機能で美しい帳票

VB-Reportは、Excelで帳票デザインをする帳票ツールです。帳票ツール独自のデザイナ機能はなく、使い慣れたExcelが、そのまま帳票デザイナとなります。フォント、属性、セル罫線、網掛け、表示形式など、Excelの多彩なセル書式設定で、美しい帳票デザインを作成する事ができます。エンドユーザー自身がちょっとした変更をしたい場合にもデザイナがExcelである事が威力を発揮します。

Excel 2007の標準形式「xlsx形式」に対応

Excel 2007で大幅に変更された、新しい「xlsx形式」に対応しました。色の扱いにおいて、フルカラー指定やテーマカラーと呼ばれる新しいスタイルが追加になり、より多彩な表現が可能になっています。

帳票デザイン時に使用可能なExcelの修飾機能※

表示形式
カンマ区切り、通貨、小数点桁指定、負数、パーセンテージ、指数、分数、日付、時刻、ユーザー定義

セル書式
横位置/標準左詰め（インデント1～15）、中央揃え、右詰め、両端揃え、選択範囲内で中央、均等割付、縦位置/上詰め、中央揃え、下詰め、両端揃え、均等割付、折り返して全体を表示する、縮小して全体を表示する、セルを結合する、縦書き、−90度～90度

フォント
フォント名、フォントスタイル（標準、斜体、太字、太字斜体）、フォントサイズ（1～409）、下線（なし、一重下線、二重下線）、フォントの色、文字飾り（取り消し線、上付き、下付き）

罫線
上、下、左、右、左上がり、右上がり、線種13種、色

セルパターン、色 ／ セル高さ、幅、表示しない

ページ余白
上、下、左、右、ヘッダー、フッター、ページ中央（水平、垂直）
グラフ ／ オートシェープ23種 ／ 印刷:印刷向き、拡大縮小印刷等

ヘッダー、フッター
左詰め、中央揃え、右詰め、二重下線、上付き文字、下付き文字、太字、斜体、下線付き、取り消し線、日付、時刻、シート見出し名、ページ番号、フォント名、フォントサイズ、総ページ数

グラフ／オートシェープ23種／印刷:印刷向き、拡大縮小印刷等

※　上記には、帳票プレビュー・印刷時Excelを使用することで反映される機能もあります。詳しくは、カタログ裏面をご覧下さい。

シンプルなコーディングで帳票出力

Excelで作成したデザインファイルを使用する帳票出力は、たった3段階のコーディングで実現可能です。

コーディング例

```
①-1デザインファイル名を指定
XlsxReportCtrl1.FileName = "c:¥Seikyu.xlsx"
XlsxReportCtrl1.Start.File( )
①-2さらにデザインシートを呼出し
XlsxReportCtrl1.Page.Begin("合計請求書", "1")

②セルに値を差し込み
XlsxReportCtrl1.Cell("得意先名").Value = "得意先商事株式会社"
 :
XlsxReportCtrl1.Page.End( )
③帳票をプレビュー
XlsxReportCtrl1.Out.PreView( )
```

プログラム上から帳票デザインを簡単に変更

VB-Reportは、読み込んだデザインシートに対してプログラム上で、セル、列、行単位でのコピー、クリア、削除およびセルの罫線や背景色、表示形式等のセル書式を変更する事ができます。これによって、一種類のデザインシートから明細行が可変となる帳票やレイアウトが微妙に異なる複数種類の帳票などをプログラム上で簡単に出力できます。

帳票を印刷/プレビュー/Excelファイルに保存

▼プレビュー画面による出力イメージ

帳票は、プリンタからの印刷の他、VB-Report専用のプレビュー画面に表示する事ができます。実行環境にExcelがインストールされていなくても帳票結果を印刷/プレビューする事が可能です。実行環境にExcelがインストールされていれば、Excelを使用しての印刷/プレビューを行う事もでき、Excel形式での保存も可能です。

PDFファイル出力、ストリーム出力に対応

今や常識となったPDFファイル出力に加えて、サーバーサイドからのストリーム出力にも対応しています。PDF出力では、プリンタドライバを使用せずプログラム中から直接、出力する事ができます。また、生成した帳票はストリームに出力することができますので、Web帳票プログラムなども簡単に生成することが可能です。

その他

簡単なセルへのデータ挿し込み

変数名、セル位置(A1参照形式)、セル名によるセル指定、座標によるセル指定により、簡単にセルへデータを挿し込む事ができます。

▼変数名によるセル指定
VB-Reportは、セル値の先頭に*（アスタリスク）が2つ付いた文字列を変数名と認識します。
あらかじめデザインシートのセルに記述した変数名を指定して、データの**差し込み**ができます。変数名を識別する先頭文字列を任意の文字列に変更することもできます。

コーディング例
```
XlsxReportCtrl1.Cell("**Name").Value = "アドバンスソフトウェア"
```

○A1参照形式でのセル指定
コーディング例
```
XlsxReportCtrl1.Cell("B1").Value = "アドバンスソフトウェア"
```

○セル名によるセル指定
Excelでは、セルに名前を付けることができます。
コーディング例
```
XlsxReportCtrl1.Cell("Name").Value = "アドバンスソフトウェア"
```

○座標による指定
コーディング例
```
XlsxReportCtrl1.Pos(1,0).Value = "アドバンスソフトウェア"
```

VB-BarCode.NETの組み込みをサポート

別売の「VB-BarCode .NET」(48,300円･税込)を組み込み、バーコードを帳票に出力する事ができます。

Unicodeを使用したデザインシートにも対応

帳票のデザインシート上にUnicode文字が使用されていても、印刷/プレビュー/Excelファイルへの保存が可能です。

プログラム納入後でも再コンパイルの必要が無いレイアウト変更

デザインファイルは、Excelファイルのまま実行可能ファイルに関連付ける事ができます。従って、デザインシートを変更しても実行可能ファイルの再コンパイルは不要です。

デザインファイルの埋め込み機能

デザインファイルをプログラムに埋め込む事により、配布の手間を軽減すると同時に、デザインファイルの変更を防ぐ事もできます。

サンプルプログラムとオンラインヘルプで強力バックアップ

豊富なサンプルプログラムとオンラインヘルプでプログラミングを支援します。

図、シェイプへの対応※

プログラム中から図やシェイプを自在に挿入することができます。

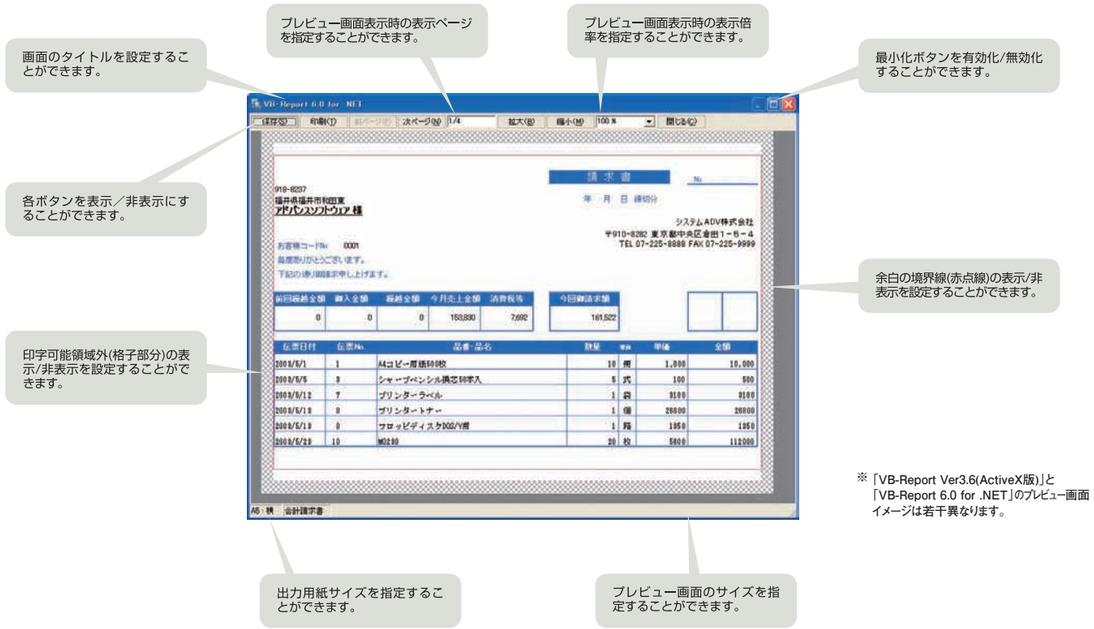
※xlsx形式のみ対応。プレビューとExcelを使用しない印刷では一部のみ対応。

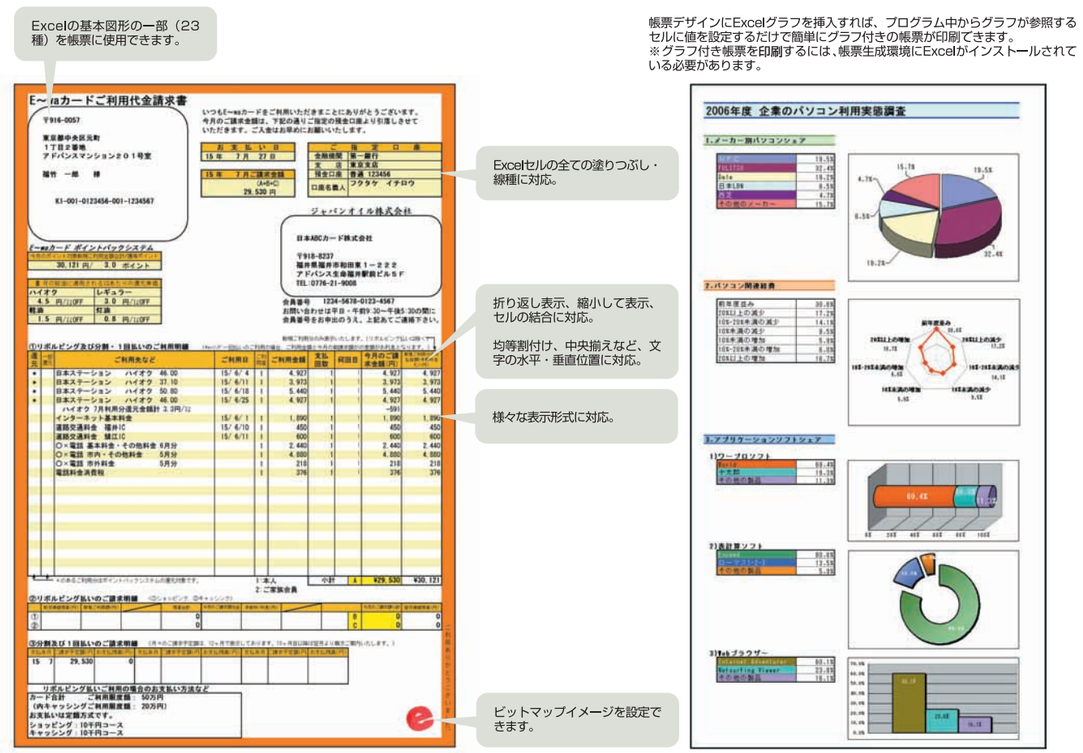
xlsx形式に対応する最新「ActiveX版」を含むユースフルな製品構成

xlsx形式対応の「VB-Report 6.0 for .NET / VB-Report 3.6(ActiveX)」とxls形式に対応する「VB-Report 5.0 for .NET / VB-Report 3.0(ActiveX)」すべての最新バージョンを収録。

カスタマイズ可能なプレビュー画面

VB-Reportのプレビュー画面では、帳票結果を表示するだけでなく、Excelファイルに保存したり、プリンターで印刷する為の各種ボタンも提供します。そこから各デバイスへ帳票を出力する事ができます。また、プレビュー画面は、プログラム上でプロパティの設定によりカスタマイズする事が可能で、オリジナルのプレビュー機能を持たせる事もできます。



※「VB-Report Ver3.6(ActiveX版)」と「VB-Report 6.0 for .NET」のプレビュー画面イメージは若干異なります。

カスタマイズ可能なプレビュー画面